

第 16 回 史跡米子城跡整備検討委員会 議事録

日 時	令和 7 年 3 月 17 日 (月) 13 : 30～16 : 00
会 場	米子市役所第二庁舎 第 2 会議室
出席者	【委員 11 名】 田中委員長、石倉委員、金澤委員、川越委員、神谷委員、倉敷委員、高田委員、辻谷委員、林委員、濱田委員、前角委員 【事務局 7 名】米子市文化振興課 大塚課長、原文化振興官、濱野課長補佐、山根室長、浦木係長、井川主任、中原専門官 【助言機関】鳥取県とっとり弥生の王国推進課 梅村文化財主事
欠席者	【委員】小椋委員、中井委員、永松委員、萩原委員
1. 開会	
2. 議事	
(1) 三の丸広場整備について	
事務局	議事(1)三の丸広場整備について説明(資料1) ○令和7年度整備内容 ○内堀・米蔵解説版案
委員	資料1追加の米蔵解説版説明文案 ・「長庇がついており、」を「長庇の柱跡が確認され、」に修正
委員	米蔵に5万4千俵が収められていたとあるが、資料に基づくものか
事務局	鳥取藩史で調べたところ、出たり入ったりの増減があるものの、5万4千俵収められていたことの記述がある。
委員	「瓦葺・土蔵造」とあるが、「瓦葺き・土蔵造り」の方が分かりやすいと思う。斗場の説明文で、「年貢米を計量したり、品質をチェックし」は「年貢米を計量したり、品質をチェックたり」にした方がよい
委員	解説板案では絵図と写真が掲載してあるが、発掘調査の写真は載せないのか
事務局	発掘調査などの情報に関しては、HPにその情報をアップして、QRコードのシールを貼り対応していきたいと考えている。
委員	「年間通して合計5万4千俵」とあるが、「年間通して」の部分は必要か、ない方が分かりやすいと思う
事務局	なくて問題ない、修正する。
委員	内堀解説について、尺貫法の表記とメートル法の表記が混在している。統一した方がよい。
委員	深さについては、歴史上文書としてあるか
事務局	絵図面に1枚記載がある。
委員	「中海と接する」とあるが、海の水を入れてるというニュアンスを伝えるためには「中海とつながる」の方がよいと思う。

委員	解説版に表示される写真絵図については、読む方の理解を深めるため、とても重要である。米蔵の解説版について、斗場についてはこの解説版のメインの一つと思うが、原案で使用している御城平面絵図では斗場の位置が分かりづらい。資料 1 追加の下に示してある米子御城正面之絵図面を提案したい。事務局より以前、本図では斗場を囲う米蔵の数が 6 棟であり、解説版中の 7 棟と違いが生じるといわれたが、斗場を囲う米蔵の下部にもう 1 棟描かれており米蔵の数としては問題ない考える。
事務局	米子御城平面図には、文字は小さいが寸法が記述されており、その数字を根拠に発掘調査で確認できた遺構が米蔵のものであると確定できたため、本解説版に採用した。
委員	案にある図では文字が小さく確認ができない。 また、米蔵とは斗場の区別がつかない。採用するなら拡大して、文字が分かるようにした方がよい。
委員	解説版を複数作る場合において、絵図を毎回変えるか、統一するかはどう考えるか
事務局	調査成果を一番わかりやすく伝えることができる絵図を乗せる予定である。
委員	現在地を確認し、どこに何があるのかを把握するには絵図は統一された方がよい。米子御城正面之絵図面は効果的だと考える。
委員	一般の方の感覚では、平面上に数字が記載されているものより、自分の立ち位置から立体的にどこにいるのか感覚的に把握できる方がいいと思う。
委員	明治時代の米蔵の写真があったと思う。本解説版に載せる必要はないが、QR コードで HP 案内すればどういうものがあったのかより分かると思う。
(2) 樹木伐採について	
事務局	議事(2)樹木伐採について説明(資料 2) ○伐採位置(二の丸危険木、新規登城路予定地)
委員	伐採後の維持をどう考えるか。草地にするのか、低木を維持するのか、そのまま戻っていくまで放置するのか。
事務局	登城路予定地に関しては大木になるまで、放置することは考えていない。適正管理できるよう幹が太くなる前に伐採していく予定。
委員	大木になりすぎてから伐採すると乱地が広がり崩れたりすることがあるので、計画的に管理をするようにしてほしい。
事務局	専門の先生とも相談し、見た目の問題もあるため、大きくなってから頭打ちをして、1m 程度残すのではなく、幹がある程度太くなった段階で伐採する管理方法をとっていこうと計画している。
委員	外来種のコントロールはどうしていくか。
事務局	外来種の侵入の阻止というのは難しいので、発見次第適宜切っていくようにする。

(3) 石垣カルテ (3次元計測) について	
事務局	議事(3) 石垣カルテ (3次元計測) について説明 (資料 3) ○石垣カルテ作成位置 (二の丸高石垣)
委員	3次元で計測していった石垣の面をつなげて理解することは可能か
事務局	可能である。
委員	石垣はすべて連動するため、同一の仕様でデータを合わせる必要があるため確認した。
3. 報告	
(1) 令和6年度米子城跡整備工事状況について	
事務局	米子城跡整備工事状況について説明 (資料 4) ○三の丸広場整備 ○登城路整備
委員	城の整備に於いて排水が一番重要と思うが、資料 4-1 中 1 のあたりに水が一番たまると思う。排水路は両脇にハの字にあるようだが十分なのか。
事務局	両脇の排水路に加え、2 で記した枠内の全面に格子状に暗渠排水を設置している。
委員	大雨が降った際に 1 あたりの排水が出来るかどうか三の丸整備の一番の問題点と思う。
事務局	発掘調査時に二の丸高石垣には暗渠がなく、下に水を供出させて排水させていることが判明した。当初の計画より石垣そばに暗渠を設置し排水できるようにした。
委員	配慮できているならよいと思う。
(2) 石垣カルテ (3次元測量)作成結果について	
事務局	石垣カルテ作成結果について説明 (資料 5)
委員	石垣に植物が大量に生えていたように記憶しているが、それは切って計測したのか
事務局	三次元計測する際に、写真等もとるため、計測時には草を刈りきれいにするようにしている。ただし、草にの勢いが強く計測時にはきれいになっているが、すぐに草でおおわれ緑の石垣になってしまう。最終的に間詰めなどをきれいにして土が入り込まないようにできればきれいな石垣となるかもしれないが、現状はこういう状態である。
(3) 令和6年度米子城・魅せる！プロジェクト事業について	
事務局	令和6年度事業について説明 (資料 6) ・米子歴史絵巻

	・米子城ライトアップ（秋・冬） ・ダイヤモンド大山（10月・2月） ・新年あけまして米子城
３．その他	
委員	2年前に土砂崩れを起こした登城路の今後の見通しはどうか
事務局	本丸の石垣の崩落箇所付近の本格的な修理にかからないと安全に通行できる状態を担保できないと考えている。そのため、当面の間崩落箇所を通行することはできないと考えている。当面というのはかなりの期間となると思う
委員	応急復旧はできないか。
事務局	工事する際には工事用道路を整備することから始めないといけないため、応急工事は出来づらいと考えている。
委員	現状のままの状態で放置しておく、さらに崩れたりする被害の危険性があるのではないかと。応急復旧的なことはやったほうがよいのではないかと。
事務局	崩れた土を除去するなどの応急復旧は実施している。
委員	現在は何も表示をしていないか
事務局	立ち入り禁止にしている。
委員	現地に立ち入り禁止の理由などの表示をしっかりと示した方がよいと思う。
委員	立ち入り禁止にしているが、勝手に侵入している方がいると聞くが危険でないか心配をしている。
事務局	大変危険であり、表示をしっかりとしていく。
委員	植物の愛好家が絵にかいた木製のプレートを随時増やしていつている。観光ガイドをしていて非常に評判がいい。米子城の魅力がアップしていると感じる。8月頃に植物ツアーを旅行会社から打診があった。これらの防護柵などがあるが、あまり見た目がよくない。許可を出すだけでなく、行政と植物系の団体とが寄り添ってよりよくして欲しい。
委員	事務局と植物の団体と意思疎通を図り管理して欲しい。